

よびこ笛

一本のしの竹を削って笛を作ります。



ねらいとして考えられるもの

- ・創造力、表現力を高める
- ・生活、文化を学ぶ

可能な活動場所

- ・ピロティ、車庫、避難所

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導可*1	4年生以上	通年*2	10~60人*3	2時間	材料費 50円

団体が準備するもの

軍手、筆記用具

げんきプラザで貸し出せるもの

厚紙、小刀、のこぎり、ビニルテープ、作業マット

実施要領

導入

- ① 動機づけ
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台を準備する。
- ② 小刀人数分、しの竹（太1本、細1本）、作業マット人数分
- ③ 道具は説明後に配布するので、説明作業台の上に準備。

実施

- ① 竹の中心付近にのこぎりで、竹の半分程度まっすぐに切り込みを入れる。（切り込みを入れすぎないように注意）
- ② 切れ込みの5mmほど横から、切れ込みに向かって小刀で斜めに削る。
- ③ 半分まで削れたら、またのこぎりで切り込みを入れていく。今度は、竹を切り落とさないように一番下まで切り込みを入れる。
- ④ 切った厚紙（リード）を切り込みに差し込み、隙間が空いていないか確認する。

①



③



切り落とさないよう
底部は残す

④

上部は空気の流れが
空いているように



横から見て
みると…

下部はリードで隙間
がないようにする

②



この方向に斜め
に削る

こちら
から吹く



できあがり

片付け

- ① 道具類は入っていたケースに入れ、あった状態に戻す。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻す。
- ③ 下に落ちた木くずやゴミを掃き掃除する。ゴミは掃除用具入れ脇のペール缶へ。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記参照

留意点

- ① 刃物等、怪我をする道具を使用します。正しい使い方を守って作業して下さい。
- ② 材料を押さえる手に軍手を装着し、道具は素手で持つようにしましょう。
- ③ 後片付けはみんなで協力し、次の団体にも気持ちよく作業をしてもらえるようにしましょう。

指導のポイント・展開のアイデア

- ・身近にある竹という素材は様々な使われ方をしています。昔はほとんどの生活用品を竹で編むなどしていましたが、最近ではめっきり減ってしまいました。しかし、私たちの身の回りにある竹を使って、自ら遊び道具を作り出す楽しさや想像力を伸ばし、道具の正しい使い方を学ぶことができる素晴らしい教材です。
- ・しの竹の太さや、切り込みの角度などによって、音色が違うことに気付かせる。

*1 指導可能時間は 9:15～11:45 13:00～17:00 です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。

*2 7,8月の実施は要調整

*3 60人を超える場合は、2班に分けての実施や、交代で実施していただく場合もあります。